

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)7月29日
所属名:高島農産普及課
番号:H24008
発信者名:中井

高島地域集落営農先進地視察研修を開催 ～女性が担い手として集落営農を支える取組について研修～

去る7月3日、高島地域農業センターとの共催により、高島市内の集落営農組織を対象とした先進地視察研修を開催しました。「幅広い視点で担い手の掘り起こしを考えよう」をテーマとし、女性が集落営農の担い手として参画されている兵庫県小野市の農事組合法人「きすみの営農」を訪問し取組について学びました。

当日は、市内の集落営農組織6組織と関係機関を含む27名が参加し、営農組織の概要や女性参画を進めた経過、募集や機械操作の習得方法、苦勞されたこと等をお伺いしました。

「きすみの営農」は組合長、機械部門長、女性従業員の3名の方が対応くださり、それぞれの立場からの率直な声をお聞きすることができ、具体的なイメージを持つことができました。

女性従業員は5名おられ、当初に想定していたオペレーター作業に加えて、直販、いちご等の園芸の導入、観光農園、加工、広報(HPやSNSによる情報発信)、運営事務と活動の幅を広げられ、組織の主軸を担う存在となっております。

組合長さんが「女性に参画いただくようになり労力的に助かったことは勿論ですが、女性を募集したことをきっかけとして、性別や集落在住かどうかにかかわらず、やる気のある人に来ていただき活躍いただく素地ができた」と話されたのが印象的でした。農業のことは知っていて当たり前という雰囲気があったそうですが、初めての人が分かるよう作業体系や説明を見直したそうです。

女性の側からの意見として、他産業との違いを尋ねたところ「子育て中は子どもの病気など突発的な事情が起こるが、そのような家庭の事情に温かく対応いただけることが大きな魅力です」とのことでした。

高島市内の集落営農組織において、女性の参画を進めたいと考える法人があります。今回の視察で得たことを参考にして、取組を支援していきたいと考えています。

